

公表: 令和6年3月1日

事業所名 ドリームつばさ

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			活動内容によって部屋を分け、環境設定を行っている	
	② 職員の配置数は適切であるか	○			人数や活動内容に応じて職員を配置。外出時や個別対応が必要な時には人員を多く配置することもある。	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			活動内容や個々に合わせて仕切りパネルを置く・シートを敷く・視覚提示物を貼るなどの構造化を行っている。	
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			毎日の掃除、施設の消毒の他、玩具や食器の消毒も行っている。空気清浄機を設置。	
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			定期的に会議を行い、統一した支援が行えるよう職員間で話す機会を設けている。	
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			HPやドリーム通信を通して意見・要望を募っている。	
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			評価結果を踏まえた上で改善案を出し、業務改善に繋げている。HPで公開している。	
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		今後、検討していく。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			社内研修を毎年設けている。外部から講師を招き職員研修を行ったり、機関支援を取り入れている。	
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			アセスメントシートを使用して分析し、計画や活動に反映している。	
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			使用している。	
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			ガイドラインに則した支援項目を設定し、関係機関との情報共有の機会を設けたり、保護者の意向を聞き取り、支援内容を設定している。	
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			計画完成後、職員で共有するための会議を行い支援の統一を図っている。	
⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			役割分担(ねらいを立てる・カリキュラム設定)をして立てている。		

	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		職員間で意見を出し合いながら行っている。反復しながら新しい活動も取り入れ行っている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		個々に合わせて集団と個別の2場面を作成している。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		支援開始前には申し送りをしている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		振り返りを行い、気付いた点や反省点等を確認し共有している。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		保護者の方へ連絡ノートの他に、個人記録ファイルを用意して計画の評価を日々行っている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		定期的にモニタリングを行い、必要に応じて計画の見直しを「行っている。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児発管や担当職員が参加をしている。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		関係機関と電話、その他必要に応じて見学などを行い連携を図っている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				該当者なし
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				該当者なし
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		サポートファイルを使用し、就園先に提出する等、情報共有に努めている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		電話や見学などを通して情報共有を行っている。また、必要に応じてサポートファイルを使用し情報共有を行っている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		定期的に専門機関にアドバイスをもらっている。また、専門機関による研修に参加している。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○		交流できる機会を設けていけるよう検討していく。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		必要に応じて参加をしている。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		共通理解をもてるよう連絡ノートや送迎時、電話などで保護者と情報共有している。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		保護者の困り感や育児負担軽減に繋がるよう、必要に応じて助言を行っている。		

保護者への説明責任等	⑳	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に説明を行っている。	
	㉑	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		支援計画時作成時期に面談を行い、お子さんの様子や今後の支援について説明を行った上で、了承を得ている。	
	㉒	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		保護者から悩みや困り感を感じられた時には傾聴し助言を行っている。また、自宅、事業所と統一した支援ができるよう、支援内容を検討している。	
	㉓	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		茶話会を開催し、保護者の方々の連携を支援している。また、就学相談会を開催している。	
	㉔	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		面談時以外にも、必要に応じて電話での相談を受けている。また、連絡ノートでの相談にも応じている。	
	㉕	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		ドリーム通信やブログ、インスタ等で定期的に発信している。	
	㉖	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		個人情報の文書などの取り扱いには十分に注意している。	
	㉗	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		思いに共感し、時間を十分にとるなどの配慮をしている。	
非常時等の対応	㉘	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		お子さんが制作した作品や収穫した野菜をお渡しするなど、地域の方との交流を図っている。	
	㉙	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		マニュアルを作成し、職員間で周知している。毎月避難訓練を行い、反省を活かし訓練の見直し等を行っている。	
	㉚	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		月に1度、想定される災害に対する避難訓練を行っている。	
	㉛	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		契約時に状況を確認している。	
	㉜	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○		契約時にはアレルギーの有無を確認している。全職員に周知し、療育部屋に貼り、常に分かるようにしている。	
	㉝	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハット事例集を作成し職員に周知している。事案があった場合には、報告書を作成し、再発防止に努めている。	
	㉞	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待防止研修や、虐待防止通信を発行している。適切な対応ができるようにチェックシートも活用している。	
	㉟	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		支援計画内に記載し、説明を行っている。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。